

就職総合支援システムの構築

015225 渡邊 裕樹

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

本学の学生の就職活動を支援するものに、KAIT NAVI の検索システムや就職相談室などがある。学生はそれらを利用して就職活動の情報を得ているが、検索条件が少なく、意図した企業を検索しにくい。閲覧できる情報もその企業を受験する上で有益な情報が少ない。

2. 目的

そのような問題を解消するために、本研究では、バラバラになっているシステムを1つにまとめ情報の共用をする。結果、学生が企業を受験するにあたって有益な情報を得ることができ、利用者は運用しやすくなるようにすることを目的とする。

3. システム構成

本システムは、企業検索システム、入社試験内容登録システム、面談情報登録システム、就職相談室システムの4つから成っている。これら4つのシステム間でデータを共用できるようにしている。

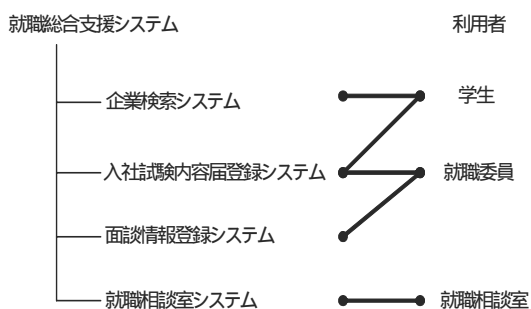


図1 システム構成図

重要度の高い企業検索システムでは、従来の検索条件を更に追加し、新たな検索方法の追加、検索結果画面に付加機能を追加することで利便性の向上を図った。それに加え、今まで閲覧するのに別々の場所に保管されていた入社試験内容届と面談情報

をデータベース化し、企業情報と合わせて Web 上から閲覧できるように改良した。



図2 企業検索システム メイン画面

4. 評価

3年生のゼミ生、研究生13人に実際に使用してもらいアンケート調査を行った。企業検索システム、入社試験内容届登録システムは、以前のシステムよりもその企業を受験する上で有益な情報を得ることができ、便利だと答えた学生は12人だった。その中でも非常に便利だと答えた学生は6人だった。

他のシステムも同様に処理に対する手間が省け便利になったという評価を頂くことができたので目的を達成することができた。

5. まとめ

本研究で作成したシステムは学生メインのシステムが中心なので、さらに利便性を向上させるために就職課業務を分析し、システム化する必要がある。その結果、最終的には本学の就職活動を支援するシステムすべてを1つのシステムとして統合し、より良いシステムにすることがこれから先の課題として挙げられる。